

～ テクノスルガ・ラボ サービス情報 ～

謹んで新年のお祝いを申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

当社では、試験・分析サービスの最新情報や技術・学術コラムや営業情報などを「テクノスルガ・ラボ通信」として定期無料配信しています。

配信希望の方は、当社ホームページよりお申し込みください。

【ロゴマーク変更のお知らせ】

当社は、事業所の移転と同時にロゴマークを一新しました。以前のロゴマークは、親会社との共用利用となっております。

新しいロゴマークでは、ライムグリーンとライトブルーにより山、川、海、空、そしてそこに生きる全ての生命、つまり自然界を表現しました。

また、重なり合う二重の丸により、細菌や菌類の細胞分裂やシャーレといった私たちの専門分野を表現しました。

私たちは今後も「ヒトと地球の健康リスク評価及び改善・修復で貢献」をスローガンに、安全、安心で豊かな環境作りのパートナーとして社会に貢献します。

【アンプリコンシーケンス解析の年度内納品、検体受取期限のご案内】

アンプリコンシーケンス (NGS) 解析をご依頼で、2020 年度内 (2021 年 3 月 31 日) の報告をご希望のお客様は、以下の日付までに全ての検体と注文書が当社に到着するよう手配をお願いいたします。

長納期 納期 40 営業日～ をご依頼のお客様：

2021 年 1 月 29 日 (金) 必着

生体検体由来 A 区分の検体で、納期 24 営業日～ をご依頼のお客様：

2021 年 2 月 24 日 (水) 必着

生体検体由来 B 区分もしくは環境検体で、納期 27 営業日～ をご依頼のお客様：

2021 年 2 月 18 日 (木) 必着

※請求書は報告書発送時に別途郵送いたします。納品以前に請求書発行が必要な場合は、事前にご相談ください。

※多検体、複数領域、RNA 解析などの場合や、糞便理化学分析、QIIME2 等データ解析を同時にご依頼の場合、上記より納期が延長される可能性があります。事前に納期についてお問い合わせをお願いいたします。

【腸内フローラ・代謝物検査用採便キット『メタボロキーパー®』】

ヒトや動物の健康状態を評価するために、糞便検体に注目して腸内フローラの解析が取り組まれています。腸内細菌によって産生される代謝物の解析の重要性も指摘されています。

糞便検体の採取については、腸内フローラ解析目的の場合は採取した糞便の細菌叢を長期間安定的に維持できる容器・保存方法が一般的ですが、代謝物分析が目的の場合は微生物の代謝を止めるために採取直後に冷凍で保存する必要があります。しかし、一般家庭では、糞便検体を冷凍庫で保存するといったことを衛生上敬遠されることもあり、冷凍保存の必要がない検体採取方法および保存方法が強く望まれてきました。

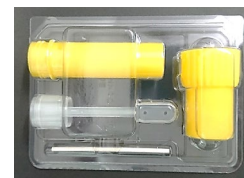
当社はこれまで細菌叢を 30°C で長期間、安定的に維持できる保存液を用いた腸内フローラ解析用採便容器を開発し、製造・販売してきました。そのノウハウを活かし、**冷凍保存することなく室温で保存・輸送できる腸内フローラ・代謝物検査用採便キット『メタボロキーパー®』を開発しました。**京都府立医科大学の研究グループと共同で検証を行い、このたび販売開始の運びとなりました。

腸内フローラ・代謝物検査用採便キット メタボロキーパー®

特徴

- ・ 有機酸分析 (酢酸、酪酸、乳酸など)、胆汁酸分析、DNA抽出用の糞便検体の保存・維持が可能
- ・ 有機酸分析をすることで糞便採取量の推定可能
- ・ 室温輸送が可能。常温で4週間の保存を確認。

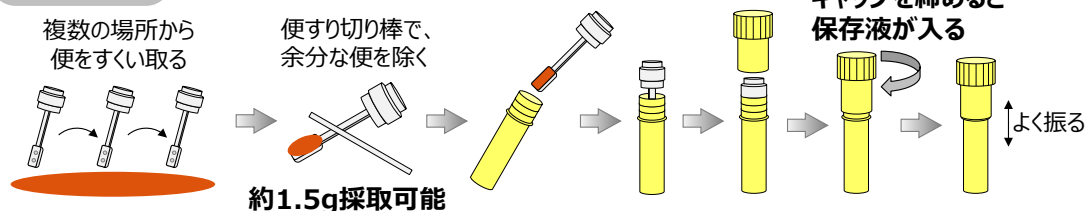
特願2019-169216:検体保存液並びにそれを用いた分析用装置及び分析方法



キット内容

- ・ 便すり切り棒
- ・ スプーン
- ・ 容器
- ・ 保存液入りキャップ

使用方法



発売元、分析受託機関:  (株) テクノスルガ・ラボ

本キットは、糞便中有機酸分析により保存液中に含まれる成分の採便前後での濃度変化から糞便の採取量を推定することができ、糞便 1 g あたりの各有機酸成分 (酢酸、プロピオン酸、n-酪酸、iso-酪酸、n-吉草酸、iso-吉草酸、乳酸、コハク酸およびギ酸) の濃度を算出して報告することができます。さらに糞便中胆汁酸分析を有機酸分析に追加でご依頼いただく際にも、有機酸分析で推定した糞便採取量を基に各胆汁酸成分を糞便 1 g あたりの濃度で報告できます (メタボロキーパーをご使用の検体での胆汁酸分析単独でのご依頼は承っておりません)。